

2021年度入学者選抜における「大学入試英語成績提供システム」参加試験の
活用予定（国立大学・一般選抜）

<平成31年4月16日現在（文部科学省調べ）>

活用方法		大学名（学部等名）
①出願資格として 利用	C E F R A 2 以上	埼玉、千葉、東京、東京外国語、東京農工、東京工業（個別学力検査（前期日程）英語の一部に活用）、お茶の水女子、電気通信、一橋、横浜国立（経済学部）、岐阜（医学部医学科）、浜松医科、滋賀、京都、京都教育、大阪、神戸、鳥取（農学部共同獣医学科）、島根（医学部医学科）、徳島（医学部医学科、歯学部歯学科、薬学部）、香川（医学部医学科）、愛媛（医学部医学科）、琉球（医学部医学科）
	C E F R A 1 以上	帯広畜産、宮城教育、横浜国立（経営学部、理工学部、都市科学部建築学科、都市基盤学科、環境リスク共生学科）、上越教育、金沢、福井、徳島（上記以外）、香川（上記以外）、愛媛（医学部医学科以外）、高知、福岡教育、熊本
	C E F R 基準の定めなし	岡山
	C E F R 基準は未定	旭川医科、東京海洋、滋賀医科
②点数化して加点	共通テストの成績 に加点	北海道教育、室蘭工業、弘前、岩手、秋田、福島、茨城、筑波、筑波技術（産業技術学部）、群馬、東京藝術（美術）、新潟、長岡技術科学、富山（人間発達科学部、経済学部、医学部、薬学部、芸術文化学部、都市デザイン学部）、信州、岐阜（医学部医学科以外）、静岡、愛知教育、名古屋工業、豊橋技術科学、三重、大阪教育、兵庫教育、鳥取（地域学部、医学部生命科学科、医学部保健学科、工学部、農学部生命環境農学科）、島根（医学部医学科以外）、山口、鳴門教育、九州工業、佐賀、大分（医学部医学科以外）、鹿児島、鹿屋体育、琉球（医学部医学科以外）、
③出願資格及び点数化して加点		小樽商科、横浜国立（教育学部、都市科学部都市社会共生学科）、信州（教育学部英語教育コース）、鳥取（医学部医学科）、長崎、大分（医学部医学科）
④一定水準以上の成績で共通テスト英語を満点とみなす		東京藝術（音楽）、広島
⑤調査書等の併用		埼玉、東京、東京医科歯科、一橋、名古屋、京都、奈良女子、九州
⑥高得点利用	共通テスト英語の 得点と比較	富山（人文学部、理学部、工学部）
⑦利用しない		北海道、東北、筑波技術（保健科学部）、京都工芸繊維
活用するが、現時点で活用方法を明示していない		北見工業、山形、宇都宮、東京学芸、山梨、奈良教育、和歌山、宮崎

※2019年4月16日現在の情報であるため、最新情報は必ず各大学のウェブサイトを確認すること。

また、各大学における活用方法の詳細についても、各大学のウェブサイトを確認すること。

※「活用方法」には当てはまる箇所全て記入しているため、複数欄に記載されている大学もある。

2021年度一般選抜における「大学入試英語成績提供システム」参加試験の活用予定の例（各大学の2年前予告の抜粋）

①出願資格として利用

●大阪大学

・認定試験を一般選抜の受験者に課すとともに、2023年度までは、共通テストにおいて実施される英語試験を併せて課します。認定試験の成績は、本学への出願要件として活用し、出願要件の具体的な基準は、CEFRの対照表における「A2」レベル以上とします。

②点数化して加点（共通テストの成績に加点）

●福島大学

・一般選抜では、大学入試センターが認定したすべての「資格・検定試験」を加点材料として活用します。

・大学入試センターから提供されるCEFRによる段階別表示を点数化し、大学入学共通テストの英語試験との合計点を入学者選抜に用います。

・具体的には、大学入学共通テストの筆記（リーディング）およびリスニングの合計点を250点満点とした場合、その得点を160点満点に圧縮します。

・英語「資格・検定試験」の結果に基づく加点については、最高点を40点（英語全体の2割）とするとともに、大学入試センターから提供されるCEFR対照表に基づく水準ごとに下表のとおり定めることとします。

・筆記（リーディング）およびリスニングとCEFR対照表に基づく加点の合計得点（200点満点）を、各学類の配点に圧縮して利用します。

CEFR	C2	C1	B2	B1	A2	A1
加点	40		35	30	25	10

③出願資格及び点数化して加点

●横浜国立大学

(1) 大学入試センターが認定した英語資格・検定試験（以下「認定試験」という。）の全てを対象とします。

(2) 原則として、2020年4月から12月の間に受検した認定試験の成績を利用します。

(3) 一般選抜における各学部の活用方法は次のとおりです。

① 教育学部：CEFR対照表のA1以上を出願資格とし、さらに、A1に該当する場合は英語の配点全体に対して10%に相当する点数、A2以上に該当する場合は一律英語の配点全体に対して20%に相当する点数を大学入学共通テストの英語の得点に加点します。

② 経済学部：CEFR対照表のA2以上を出願資格とします。

③ 経営学部：CEFR対照表のA1以上を出願資格とします。

④ 理工学部：CEFR対照表のA1以上を出願資格とします。

⑤ 都市科学部：CEFR対照表のA1以上を出願資格とします。

さらに、都市社会共生学科においては、A2に該当した場合は英語の配点全体に対して4%、B1に該当した場合は8%、B2に該当した場合は12%、C1に該当した場合は16%、C2に該当した場合は20%にそれぞれ相当する点数を大学入学共通テストの英語の得点に加点します。

④一定水準以上の成績で共通テスト英語を満点とみなす

●広島大学

・英語認定試験結果の活用については、本学が定める条件をすべて満たした場合、本学を受験する年度の新テストの外国語（英語）の得点を満点とみなす。

・なお、英語認定試験結果の有効期間については、一般選抜においては、受験年度に限ることとし、大学入試英語成績提供システムを活用する。総合型選抜及び学校推薦型選抜については、高等学校在学中の活動状況を評価する観点から、受験年度の前々年度から活用できるものとする。

⑤調査書等の併用

●東京大学

・2021年度東京大学一般入試（2020年度実施）においては、従来の出願要件に加え、次の(1)～(3)のうちいずれか1つを求めることとします。

- (1) 大学入試センターによって、「大学入試英語成績提供システム」の参加要件を満たすと確認された民間の英語試験（以下、「認定試験」という。）の成績（ただし、CEFRとの対照表でA2レベル以上に相当するもの）。
- (2) 日常の授業における学習状況や試験の成績等から総合的に評価した結果、CEFRのA2レベル以上に相当する英語力があると認められることが明記されている高等学校等による証明書。
- (3) 何らかの理由で上記(1) (2)のいずれも提出できない者は、その事情を明記した理由書。

⑥高得点利用

●富山大学（人文学部、理学部、工学部）

・英語認定試験の結果は、CEFRの一定水準以上に相当する場合に限ってCEFRの対照表に基づいて得点化し、その得点と大学入学共通テスト「英語」の得点とを比較して、高得点の方を利用します。

⑦利用しない

●京都工芸繊維大学

・一般選抜への英語認定試験活用については、現時点で一般選抜への英語認定試験活用については、現時点で複数の試験のスコアとCEFRとの対照や受験体制の面で十分な公正性と公平性が担保されていることが確認できないため、2021年度の一般選抜への活用は見送らざるをえないという結論になりました。

・本学では、以前の予告公表とおり、入学後に英語4技能（聞く・話す・読む・書く）の能力を最大限に伸ばす「英語鍛え上げプログラム」を運営しており、成果も上げています。また、CBT方式のスピーキングテストを大学独自で開発し、学部の必修科目の学期末試験として用いるとともに、ダビンチ（AO）入試【グローバル】の選考にも活用しています。

・なお、2022年度入試以降の一般選抜については、今後の状況を注視しながら、検討をさらに重ねていくこととし、決定次第速やかに公表いたします。